

令和8年度秋期 災害対策専門研修 カリキュラム(案)

マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 黒田 奈那

時間\日付		10月6日(火)	10月7日(水)	10月8日(木)	10月9日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	<u>災害対応概論(復旧期・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ。	<u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 中林 啓修 人と防災未来センター リサーチフェロー (日本大学危機管理学部 准教授) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める。	<u>災害対応各論(広域連携)</u> 高見 隆 人と防災未来センター 副センター長(総括担当) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める。
11時00分～12時15分	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 黒田 奈那 人と防災未来センター研究員	<u>災害対応各論(支援物資物流のポイント)</u> 宇田川 真之 人と防災未来センター リサーチフェロー (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 客員研究員) ・過去の災害において避難所へ必要な物資が円滑に届かない事態が繰り返されてきた理由と、そのような事態を防ぐためのポイントについて学ぶ。	<u>災害対応ワークショップ</u> 秋山 裕登 人と防災未来センター 研究調査員 ・内容調整中 【11時～14時30分,昼休憩含む】	<u>災害関連法体系</u> 松村 圭悟 人と防災未来センター 研究員 ・災害関連法制の全体像を概観し、災害対策基本法の構造を知る。
		昼休憩	昼休憩		昼休憩
13時15分～14時30分	3限	<u>災害過程総論</u> 具 本竣 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見通しを持った災害対応業務について学ぶ。	<u>保健医療福祉支援活動</u> 高鳥毛 敏雄 人と防災未来センター上級研究員 (関西大学名誉教授 大阪大学委託講師) ・災害発生時、災害医療、地域保健、地域ケアなどの諸活動の現状と課題について学ぶ。		<u>災害対応各論(防災と福祉の連携)</u> 松川 杏寧 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時における要配慮者の被害を減らすため、防災と福祉の関係者が連携した形で当事者に関わることの重要性を先進的な取り組みを交えながら学ぶ。
14時45分～16時00分	4限	<u>災害対応各論(情報の利活用)</u> 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報の利活用方を学ぶ。	<u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 木戸 崇之 人と防災未来センター リサーチフェロー (株式会社エー・ビー・シー リブラ ビジネス開発部長) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ。	<u>気候変動による豪雨災害への備え</u> 中北 英一 人と防災未来センター 上級研究員 (京都大学 総長特別補佐 名誉教授 日本気象協会 常勤顧問) ・気候変動の影響が出だしている中、今後豪雨や水災害がどうシビアになるか、それに対して治水行政はどう適応してゆくべきかを学ぶ。	<u>全体振りかえりワーク</u> 黒田 奈那 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える。
16時15分～17時30分	5限	<u>災害対応概論(初動期・応急期)</u> 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (長野県災害時支援ネットワーク 共同代表) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急期における目標管理型の災害対応の重要性や、関係機関との連携、受援体制構築の必要性を学ぶ。	<u>災害対応各論(能登半島地震での対応)</u> 岸江 竜彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (三重県防災対策部災害即応・連携課 課長補佐兼班長) ・能登半島地震において、総括支援県として輪島市に入った三重県の取り組みから得られた知見について学ぶ。	<u>災害対応各論(災害関連死)</u> 奥村 与志弘 人と防災未来センター リサーチフェロー (関西大学社会安全学部 教授) ・災害関連死は死亡原因が多岐に及ぶことに加え、同じ死亡原因でも死亡に至る経緯は持病や介護の有無、生活環境などによって複雑である。本講義では、災害関連死の特徴に加え、事前対策と事後対応のポイントを学ぶ。	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。